megumaガ

2011年3月号… vol.34

春一番 スノードロップの話…

(原産国:ヨーロッパ)

知名は待雪草 マツユキソウ

春一番が吹いた後、10℃の気温を上下して、再び雪の降った都内…

この時期に見い出す花が『スノードロップ』です。寒い冬の間、雪の布団の中で凍らないように球根を温め、立春～3月に開花する花。

まだ春の花盛りになる前に一番乗りで『春だよ』と告げてくれる『春告げの雪の妖精』とも言われます。花言葉は多数ありますが『まさかの時の友』、(雪の中に春の希望を見いだそう)『逆境の中の希望』など…3月の卒業シーズン、友人との別れや新しい出発への不安の中にピッタリです。

この『まさかの時の友』の由来となったドイツの逸話がとても心をポカポカ(暖)にしてくれるものなので、ぜひお話させて下さい。

昔々…天地創造の時という大昔のこと…「雪」という存在は色を持っていなかった。雪は神さまに「私と風だけが色を与えられていません!!」と訴えた。すると神さまは「では いろいろな色を持っている花にお願いして 色を分けてもらいなさい」と。雪は早速、赤や黄・ピンクの花に頭を下げた。しかし…だれいれり(花)として色を分けてくれない…「私のこのステキな色をアナタになんてあげないわっ!!」と。ところが たったひとり(花)だけ「私の色をあげる」…そう言って差し出したのが スノードロップだったのです。それ以来、雪は白くなり目に見えるようになった。

季節が移り、冬になった時、多くの花の種や球根は ごぞって冬には咲けなくなった。ところが…雪は自分のために、大切に持っていた白という色を惜しげなく与えてくれたスノードロップを守るため、冬の寒さから守るように土を覆いスノードロップの布団となって温めた。スノードロップは まさかこんなところに恩返ししてもらえるとは思ってもみなかった…まさかこんな温かな冬を越せるなんて…。それから毎年、雪はスノードロップを守り、そのおかげで まだ他の花たちが咲けない時期に一番に可憐な花を咲かせ、人々の心にも希望を与える花となることができた……と言い伝えられています。

自分の大切なものを惜しみなく差し出す やさしさに(努力)見わめ結果がついてくるのは 現代にも通じ、忘れかけている大切なことだなあ…と思い出します。

そうそう…いつも、クレヨンの「白」って要らないなぁ～って思っていた私…「白」という色があまり好きじゃなかった私…この逸話を知ってから「白」という色に温かさと清らかなものを感じ、大好きになりました。

皆さんは「白」色をお好きですか???

花弁に2つのハート型が表われている珍しい1枚

ワン ポイント アドバイス コーナー

by 愛犬家住宅コーディネーター

ペットの「花粉症」

春はうれしくても花粉がツライ…ペットも同じです。

昨夕、お猿さんがグジグジしているのをTVで観ますが、犬や猫は『皮フ炎』となって出てくる症状が多いとのこと。(特に4月～6月)

予防には、『ペット用の服を着せて散歩し、帰ったら玄関で脱がせる…』

『こまめにシャンプーする…』

『早朝の散歩をさける…』

花粉に朝、最も多く飛びます。昼以降の散歩がオススメです。

人間もツライですわ!ペットの毛についた花粉に気をつけて、人も犬も猫も、お猿も(笑)楽しい春にしたいものです。

花粉を素早くキャッチする空気清浄機など…3月からはフル回転で乗りこなしましょう。

今月の工事 忍者部隊

下の方に小さく写っている車や人が見えますか???

10階建てビルの看板修理作業を、ブランコで行っています。

こちらは同じく10階建てビルで、『鳩除けのアミを取付作業中』。

そのほか『雨漏りやタイルの剥がれ』を調べることもあります。

当社があちこちで頼んでいる『忍者部隊』頼りになります!!

発行元
megumiが編集長しました
恵建設株式会社
東京都新宿区新宿1-18-4
電話 3350-6689
FAX 3350-8186
お気軽にお問合せください!!